



結びつける

(続き) しばしば…。これでは利根川進先生の言う効果的な脳の使い方にならないですね。ゴールがあれば脳って覚える、ということなので、とりあえずこれから英語を読めるようになりたい、英語を！ 英語！英語！英語！英語！ あれ、ゴールが見えなくなった…\(^o^)/ (S)

●日比谷は本当にトップ校なのだと思った。自分は入学してから浮かれて、どんどん下降していったので、こけから努力をしていかねばならないなと思った。全国の他のトップ校が敵となるのがとても怖くてしょうがないし、大学入試に受かることができるのかとても不安です。不安を自信にかえられるように努力しようと思います。(N)

●日比谷に入ってから大学入試にいくまで、川の流れがあり、努力をしないと流され、落ちていくということが分かった。仲間、家族の力が欠かせないのも分かった。入学してからはしばらく分からなかったけれども、日比谷がなぜ三人行事の時期を固めて大変にしているのか、なぜ全教科を学習するのかが、改めてよく分かった。このようなスタイルを今までは言い訳にしてきたが、これらを生かして自分の強みにしていく必要性を感じた。そして、自分はリスクを避けていたが、それではいけないと思った。せっかく自分の今の立場でチャレンジ・リスクをとれるので、生かしていこうと思う。そして、記憶力強化のために、集中・面白さを感じないといけないと分かった。是非この方法を実践してみたい (T)

●二年後の今ごろは、大学入試も一通り終わ

り、あとは結果を待っているという状況である。遠いことのように思えるが、もう既にカウントダウンは始まっていると考えると焦りを感じた。先生の講演の中でも特に「全科目主義の意義」について印象に残った。理社を学ぶことは英語、そしてそれだけでなく、社会に出て役に立つ。しかし自分の一年間を省みると、学習をおろそかにして反省すべきことが多くある。2年に進級するまでに、自分が貯めてしまった”借金”を返済し、新たな氏気持ちで新学期を迎えたい。また、大学入試だけでなく、その後の進路についてもゴールを定め、高校生活を過ごしたい。(K)

●川の例えの話で、自分は入学早々落ちてしまったと感じた。この3月は清算の月ととらえて、今までのツケを解消して春休みを気持ちよく迎えたい。U田先生は、日比谷生は(本来)優秀であるということは何回も言っていたが、それも努力あってのことなので、過去の栄華を忘れて素直になりたい。(S)

●正直な話、まだ進路のことを真剣に考えるような心境にないのが今の自分の状況で、部活も忙しく、電車は日々の小テストで手いっぱいだし、勉強に付いていくのが精一杯です。今回の講演を聞いて思ったことは、まず目標を持つこと。明確な目標が持てれば、やる気もでるだろうと思った。まだまだ分からないところは多いけれど、日々の積み重ねを大切にしていきたいと思った。(K)

*

この感想を自分の「これから」に結びつけられるかが問われているのだ。頑張ろう。